

住宅改修の有効性についての調査

●目的

2018年4月の制度改正に向けて、住宅改修による住環境整備の有効性を他サービスと比較し、費用対効果を検証する。

●前提条件

住宅改修と費用対効果を比較検証する他サービスとして、同じく住環境整備の手段である福祉用具貸与/販売も考えられるが下記の理由により住宅改修と福祉用具貸与/販売で対応できる領域は異なると想定し、比較対象サービスからは除外する。

住宅改修	該当する福祉用具	対応できる領域の違い
手すりの取付	手すり (置き型/突っ張り型)	<ul style="list-style-type: none"> ・用具は置き型の場合、ベース面を設置するスペースがあること、突っ張り型の場合は天井の高さ、並びに強度があることを前提とする。使用できる環境は、居室や廊下などの限定した場所に限られる。 ・住宅改修は下地補強などの付帯工事も含めて行われるため、屋外・トイレ・出入口・階段などの様々な場所に施工可能。手すりを設置したいニーズはこうした場所の方が多い。
段差の解消	スロープ	<ul style="list-style-type: none"> ・用具のスロープは適切な傾斜角度を維持するために一定の長さがあり、それを設置できるスペースがあることを前提としている。また、根本的な段差の解消ではなく、傾斜角度をつけて差をなだらかにするだけであること、使用の都度用具の設置が必要となることから、頻繁に出入りをする場所への有効性が低い。 ・住宅改修は敷居の撤去や床のかさ上げなどの根本的な段差解消、並びに踏み台やスロープなどの恒常的な設置が行えるため、対応できるケースが多く頻繁に出入りをする場所への有効性が高い。
床材の変更	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・用具では対応できない。
扉の取替	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・用具では対応できない。

●検証内容

住宅改修の中で最も実績の多い「手すりの設置」に関して、下記2つの検証を実施する。

【検証内容】

①住宅改修（手すり）が利用できない場合に代替手段として想定される他サービスとの費用対効果比較検証
住宅改修は利用者が自立して生活動作を行うための住環境整備であり、住宅改修による手すり設置を行わず生活動作が自立できない場合、人的な介助が必要となることが想定されることから、比較対象となる他サービスとして訪問介護を想定。

住宅改修により手すりを設置した場合と、訪問介護を利用した場合の、一定期間に発生する費用を比較する。

②手すり設置前後での転倒有無等の比較

住宅改修による手すりの設置前後で、転倒の有無や生活動作の改善等、ADLがどのように変化したかを比較し、住宅改修のADL維持/改善への効果を実証する・

【検証方法】

上記の検証を、下記のアンケートにより実施する。

- ・福祉用具を利用しておらず住宅改修（手すり）の実績がある弊社ご利用者様10～20名程度を対象とする。
- ・手すりの使用期間、使用方法、ADLの改善状況等を弊社社員の訪問による聴取形式で調査実施。
- ・住宅改修に要した費用等は弊社実績データを使用。
- ・ご利用者様の個人情報伏せ、調査結果は匿名とする。

※アンケート用紙：次項以降添付

浴室 手すり設置 □有 □無										
浴室出入り（ドア開閉）の介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
浴槽出入りの介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
洗身と立ち座りの介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
トイレ 手すり設置 □有 □無										
出入りの介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
立ち座りの介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
寝室 手すり設置 □有 □無										
寝台での起き上がりの介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
寝台からの立ち上がり介助	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
その他 手すり設置場所										
	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置前	0	/	1	/	2	/	3	/	4
	設置後	0	/	1	/	2	/	3	/	4

※0 自立 ⇒ 手伝い・準備・観察・見守りが不要なレベル

1 見守り・観察 ⇒ 準備や誘導・励ましレベル

2 一部介助 ⇒ 動作の大部分は福祉用具利用等により部分的な手伝いにて行なえるレベル

3 大部分介助 ⇒ 福祉用具の操作を含め大部分の動作に手伝いを必要とするレベル

4 全面介助 ⇒ 全介助・全面依存レベル

IV. 転倒について		
転倒経験（一か月平均） □有 □無		
転倒してしまった回数	設置前	
	設置後	

V. 外出について		
一か月あたり外出頻度（平均回数）		
頻度（回数）	設置前	回
	設置後	回

VI. その他備考（コメント） ※手すり設置によつての改善点など

調査日	2016年 月 日（ ）		
営業所名	営業所	担当者名	
住改施工日（3ヵ月以上前）	年 月 日（ ）		
住宅改修費用	円 (手すり以外の内 容：)		
※手すりのみの費用	円		